

『林業経済』編集委員会 (50 音順)

山本 伸幸 (編集委員長) 興梠 克久 (副委員長) 原 研二 (副委員長)
 石崎 涼子 市川 隆史 小川三四郎 柴崎 茂光 関岡 東生 関 良基
 竹本 太郎 立花 敏 寺内 大左 早瀬 悟史 三木 敦朗 山本 美穂
事務局
 土屋 俊幸 (所長) 大西 純 (事務員)

《編集後記》

【ふらふら所長の周辺探検 第12回】今回は、ついに神田神保町を取り上げたい。神保町は、一説には世界一の規模と言われる古書店街として著名だが、古書店の数は、事務所のみで店舗を持たないものも含めて百七、八十軒ぐらいだという(『神保町 本の雑誌』別冊本の雑誌22、本の雑誌社、2023年)。1970年代の後半からこの街に出入りしてきた筆者の印象では、表通りの古書店数は確実に減少し、飲食店等が増加して、町の雰囲気はかなり変化したと感じていたが、外山らの研究(外山・田中・福井「神保町古書店街の発生と変遷」『景観デザイン研究講演集』No.14、土木学会、2018年)によれば、むしろ平成になって裏通りやビル内の立地が増加し、総古書店数は増えているようである。これは、例えば本郷の東大前の古書店街の明らかな衰退と比べれば、神保町古書店街の生命力の強さを表しているように見える。

古書店街がこの地に成立した経緯としては、【所長の周辺探検 第7回】(2023年12月号)で述べた東京大学(1877年)、東京外国語大学(1873年)などの成立にも関係しており、これらの官立の大学、あるいはその前身校の神田町内への設立に続いて、私立大学の前身である法律学校等が相次いで周辺に立地するようになり(明治法律学校(現・明治大学)1886年移転、英吉利法

律学校(現・中央大学)1885年、専修学校(現・専修大学)1885年移転)、学生たちが利用する法律書等の古書の流通が盛んになり、多数の古書店が営業を始めたことが端緒となる。その後、大火や関東大震災での市街地焼失等を経たが、第2次世界大戦時の空襲を免れたこともあり、また私立大学、予備校などの学校の立地が継続したこともあり(2018年現在、私立大学9、私立大学院4、私立短期大学2、高等学校6、専修学校22、その他9の計52校(前記外山ら))、現在も古書店街としてしっかり生き残っていると言える。

個人的な思いを述べさせていただければ、学生時代、特に大学生時代、高価な新刊の専門書を手に入れることは難しく、また線を引きながら読まないで頭に入らない遅読の筆者の場合、図書館の本は勉強の対象にはなりにくく、もっぱら古書店を巡り、安価な専門書を漁ることが日課となっていた。神保町古書店街はそうした貧乏学生にとっては、戦いの場であると同時に癒やしの場でもあった。その後、就職と同時に北日本に20年近く住むことになり、頻繁に通うことはできなくなったが、東京に戻り、さらに研究所にお世話になり、神保町近傍に再び帰ってくる事ができた。まさにホームグラウンドに帰ってきた気持ちでいる。(土屋)

研究所業務日誌 (2025年1月)

1月6日 仕事始め

1月20日『林業経済』1月号校了

1月16日 企画委員会 (オンライン)

1月31日 調査研究企画委員会 (オンライン)

林業経済 (月刊)

(禁無断転載)

定価 880円
 (本体価格 800円)

編集発行人 永田 信

発行所 一般財団法人 林業経済研究所

〒113-0034 東京都文京区湯島1-12-6 高関ビル3A

電話 03-6379-5015 FAX 03-6379-3210

E-mail : office@foeri.org URL : http://www.foeri.org/

☆本誌は予約購読を原則とします。購読ご希望の方は直接、当研究所までお申し込みください。

1年 10,560円(送料共) (本体 9,600円、消費税 960円)

学生および院生は1年 5,500円(本体 5,000円、消費税 500円)になります。

購読料の振込先

口座名義人：一般財団法人 林業経済研究所

銀行の場合：三菱UFJ銀行 秋葉原支店

普通預金口座 4560904

郵便局の場合：振替口座 00110-1-147629

印刷 株式会社ソウブ・ドットコム 東京都荒川区西尾久7-12-16